平成２７年１２月２３日（水）　中日新聞朝刊

区政に貢献で感謝状

南陽高へ港区 奉仕活動など

港区は二十一日、区内の農産物を活用した新たな食品開発や高齢者の生きがいを支えるボランティア活動など幅広い分野で区政に貢献しているとして、南陽高校（港区大西）に感謝状を贈った。

区役所で岩田隆区長＝写真右＝が金尾正枝校長＝同左＝に感謝状を手渡し「いろんな分野で支えていただき感謝します」と伝えた。

同校は開校四十三年目。一九八八（昭和六十三）年から障害者自立支援イベント「港ふれあい広場」の運営ボランティアとして協力してきた。

近年もグルメや高齢者福祉、防災活動などで活発に行政と連携。グルメではタマネギを使った「ミナトバイボール」が話題を集め、地域の高齢者サロンでは菓子作りや高齢者へのハンドマッサージ、ロゴ制作などボランティアで運営を支える。

区役所へは各分野で参加した生徒を代表し、いずれも三年の野波里帆さん、佐原祐華さん、溝口瞬さん、神戸恵未さんと二年の渡辺麻里さんも訪問。野波さんは「ボランティアで高齢者と接する機会が多く、たくさん教わった。経験を将来に生かしたい」と話した。（室木泰彦）